

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 Ultra Bend Magic ウルトラベンドマジック	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.48	ΔRG 0.060	●ピン ★PAP ✕CG ●バランスホール

テスト対象ボール

フレアーの幅: inch

PAP-ピンの距離 **5 1/4 inch**

表面加工
箱出し状態 加工
ペーパー 番 ポリッシュ
 研磨剤

比較用ボール

ベンドクラシック

PAP-ピンの距離 **5 3/4 inch**

表面加工
箱出し状態 加工
ペーパー 番 ポリッシュ
 研磨剤



ローリングタイプ (ローラー) 回転数 (回転)

レーンコンディション
 早い ▼ 遅い
 手前のコンディション
 オイル厚い ▼ オイル薄い
 奥のコンディション
 キャリーダウン ▼ かなり切れている

オイル長さ **41f**

メンテナンスマシン
サンクション ツインスター シャトル 手引き
その他

ボールの評価

スキッド長さ: 長い ● ★ 短い

手前の転がり: ★ よく転がる 空スベリ

バックエンドリアクション: SHARP ★ ● ARC

曲がり幅: 大きい ★ ● 小さい

ピンアクション: 良い ★ ● 悪い

安定度: 良い ★ ● 悪い

キャリーダウン: 強い ★ ● 弱い

オイルキャッチ: 強い ★ ● 弱い

カバーストックの特性か、手触りがベトつき感とウェット感を伴う吸い付くような表面素材で、いかにもオイルキャッチしそうな感じがある。クラシックと比べても転がり感は増しているし、良い転がり感の中にしっかりとしたキャッチ力を感じる。曲がり幅も大きく、ホッケースティックの曲がり。

ウルトラベンド特有の中間層からのトルクのある曲がり、ポケットへの入射角度に力強さを感じる。ピンアクションはやや硬めだが、角度のある入射角度を取れるので、ピンアクションは問題にならない。

クラシックと比べ、オイル上での安定感が向上しているように思われ、軌道が読みやすく、扱い易さを感じ、表面素材のウェット感を保つことによりパフォーマンスの持続的なことに関しても大きく見直されている感がある。安定感と軌道が読みやすいので、極端なキャリーダウンでなければ、そのパフォーマンスは発揮でき、大幅なライン変更をしなくても済むでしょう。

オイルの吸収率も良く、トラックエリアのオイルはすぐ吸収されてしまいます。それだけ、カバーストックが優れているので、定期的なメンテナンスは必要不可欠だと思います。手前のオイルがしっかりしていないと中間層の曲がり方が早めにて、曲がり方がボケたり、ピンアクションにも影響するでしょう。大きく出し戻しできるボールを求めている方にも満足して頂ける仕上りです。

特記事項 色合い的にもブラックとレッドのマーブルでなかなか綺麗です。ウルトラベンド特有のトルクのある曲がりにはシャープさが加わりました。是非、このパフォーマンスの衝撃をお試しください。